意思決定のスピードと質を高める

江戸川合成

代表取締役　篠原幸治氏



当社では今年、売上高の24％を環境に貢献できる製品に置き換えていく。そのための製品開発も活発化しており、環境負荷低減に貢献できる紫外線硬化型塗料や水性塗料などを発売した。

製品開発・上市に際しては営業、技術、生産、総務が横断的にプロジェクトチームを組んで行っている。製品の強みやターゲットを全員で共有し役割や責任範囲を明確にしている。この形をとってから社員の一体感が格段に向上している。特に昨今では原材料の高騰や物流の滞りなど問題や課題が連日発生しているが、そのような環境下では全員が最新情報を共有し問題解決のためのアイデアを出し合いながら最善の方法を選択することが求められる。意思決定のスピードと質を高めていく。

そのカギを握るのはアナログコミュニケーション。全員が目指すべきゴールを正しく認識し、互いの状況も配慮しながらベストな方法を素早く正しく決定していくには、対面での話し合いが不可欠。体温を感じ合えるコミュニケーションの積み重ねが、顧客のニーズにお応えできる製品を生み出す。意思決定のスピード感と小回りが利く企業づくりで環境対応や顧客ニーズを満たす製品を生み出していきたい。

全社員が共通認識を持ち一丸となってチャレンジする風土を更にブラッシュアップしていく。(談)



